

第1時

は・を・へ

「は」「を」「へ」のはいったぶんをよ  
んだり かいたりしよう。

○「は」「を」「へ」をみつけよう

えみちゃんへ

なぞなぞを つくったので、

こたえが わかったら おしえて  
ください。

わたしは、だれでしょう。

①わたしは、とびます。

②わたしは、こうえんへ  
いきます。

③わたしは、まめが すきてす。

こはるより

☆

は「は」「わ」

へ「へ」「え」

を「を」「お」

◎くつつきの「はをへ」

第2時

くつつきの「はをへ」についでくわし  
くしよう。

○「わ」と「は」

わたし はとです。

わたし は とびます。

☆くつつきの「は」「は」「わ」とよむ。

それいがいの「は」「は」「は」とよむ。

○「を」と「お」

おにごっこ を します。

おりがみ を おります。

☆くつつきの「を」「は」「お」「とよむ  
それいがいの「お」「は」「お」「とよむ

○「え」と「へ」

こうえん いきます。

や もとります。

☆くつつきの「へ」「へ」「え」とよむ。

それいがいの「へ」「へ」「へ」とよむ。

ぶんをつくらう。はっぴょうしあう。

○ぶんをつくらう

わたし

は、

。

。

へ

。

。

を

。

- はっぴょうしあう
- ・わたしは、わらいます。
- ・いえへかえります。
- ・おもいをたべます。

おおきな かぶ／ほんを よもう

第1時

おおきな かぶ

「おおきな かぶ」は どんな おはなし  
なのか、かんがえながら よもう。

○どんなおはなし

- ・ おおきなかぶをそだてる
- ・ たべきれないくらいおおきなかぶが  
でてくる

- ◎おもしろかったところ・きになったところ
- ・ ひとやどうぶつをたくさんよんで  
くるところ。
  - ・ 「うんとこしょ、どっこいしょ。」と  
なんかいもいうところ。
  - ・ かぶがなかなかぬけないところ。

第2時

とうじょうじんぶつのでてくるじゅ  
んぼんや したことを かんがえよう。

おじいさん

おじいさん＋おばあさん

おじいさん＋おばあさん＋ま

おじいさん＋おばあさん＋ま  
＋いぬ

おじいさん＋おばあさん＋ま  
＋いぬ＋ねこ

おじいさん＋おばあさん＋ま  
＋いぬ＋ねこ＋ねずみ

「うんとこしょ、どっこいしょ。」

第3時

おじさんの きもちを かんがえよう。

○かぶのたねをうえたとき

「あまい あまい かぶに なれ。」

おおきな おおきな かぶに なれ。」

・ かぶがはやくそだってほしい。

・ おおきなこえでよむ。

○なかななかぶがぬけないとき

・ はやくぬけろ。

・ がんばっているのにぬけないぞ。

・ あきらめないで、がんばるぞ。

○やっとかぶがぬけたとき

・ やつとぬけたぞ、うれしいな。

・ みんなでがんばってよかったな。

・ うれしそうなおおきいこえでよむ。

・ ちよつとつかれたこえでよむ。

第4時

とうじょうじんぶつたちの はなしたことを そうぞうしよう。

○おじさん・おばあさん

「せつかくおおきなかぶがそだったのにぬけないんだ。てつだつて。」

「いいですよ。いますぐいきます。」

○おばあさん・まこ

○まこ・いぬ

○いぬ・ねこ

○ねこ・ねずみ

「いつもけんかをしているけど、かぶをぬくからてつだつて。」

「まかせて。いますぐよ。」

第5時

「うんとこしよ、どっこいしよ。」のおん  
どくのしかたを かんがえよう。

◎おんどくのくふう

○ろっかいめの「うんとこしよ、どっこいしよ。」

・ がんばっているかんじ。

・ ひとりのこえ。

○にかいめ〜こかいめの

「うんとこしよ、どっこいしよ。」

・ よむひとのこえをだんだんふやしていく。

・ だんだんおおきなこえ。

○ろっかいめの「うんとこしよ、どっこいしよ。」

・ みんなでひっばっているから、おおきなこえ。

第6時

「かぶは、ぬけません。」のおん  
どくのしかたを かんがえよう。

◎おんどくのくふう

ところが、かぶは、ぬけません。

☆くやしそうなかんじ。

それでも、かぶは、ぬけません。

☆がつかりしたかんじ。

まだ、まだ、かぶは、ぬけません。

☆がつかりしたかんじ。

まだ、まだ、まだ、まだ、かぶは、ぬけません。

☆にかいめの「まだまだ」をつよく。

それでも、かぶはぬけません。

☆たいへんそうなかんじになるように、

だんだんとおおきなこえ。

第7時

おんどくはつぴょうかいの ために そう  
だんしたり、れんしゅうしたり しよう。

○そうだん

・どんなところをくふうするか

・だれがどこをよむか

○おんどくれんしゅう

第8時

ころを こめて おんどくはつぴょうを  
して、かんそうを つたえあおう。

☆きをつけること

○はつぴょうするひと

・おはなしのようすがつたわるように、こ  
ころをこめてよもう。

○きくひと

・よいところはどこか、かんがえながらき  
こう。

◇こんなところがよかったよ

第9時

ほんを えらんで、すきな ところを  
つけよう。

☆としよかんのやくそく

- ・ほんをたいせつにする。
- ・しずかにさがしたり、よんだりする。

○ほんのしょうかい

- ・『さんびきのやぎの がらがらどん』
- ・『おいもを どうぞ』
- ・『ブレーメンの おんがくたい』

○すきなところに、ふせんしてしるしをつけ  
る。

◎つぎは、えらんだほんを、しょうかいしよう。

第10時

えらんだ ほんの すきな ところを  
しょうかいしよう。

1. すきなところのしょうかい

わたしは、というほんをよみました。  
このほんですきなところは、というところ  
です。

そのところをおんどくします。みなさん、  
きいてください。

2. ほんをこうかんしてよむ

令和二年度版「みんなとまなぶ しょうがつこうこうご 一ねん 上」板書例  
かぞえうた／かずの かんじ

第1時

かぞえうた

かぞえうたを たのしく おんどくしよ  
う。

かぞえうた

一	ひらくよ	ひまわり	一	りん
二	ふんわり	ふきんが	二	まい
三	みずあび	みずぎが	三	ちやく
四	よろよろ	よみちを	四	にん
五	いろいろ	インクが	五	しよく
六	むずむず	むかでが	六	びき
七	なぞなぞ	なぞとき	七	もん
八	やまでら	やまぼと	八	わ
九	こっそり	ココアを	九	はい
十	とうとう	とびばこ	十	だん

- きがついたこと
- ・たくさんのかぞえかたがある。
- ・かんじがでてきた。

第2時

かすの かんじを よんだり かいたり  
しよう。

かすのかんじ

- 一 ・よみかた いち ひとつ
- 一 ・かきじゆん ※一画ずつ書く

- 一 ・よみかた に ふた一つ
- 一 ・かきじゆん ※二画ずつ書く

……



第3時

いろいろなものをかぞえてみよう。  
かぞえうた

一	ひらくよ	ひまわり	一	りん
二	ふんわり	ふきんが	二	まい
三	みずあび	みずぎが	三	ちやく
四	よろよろ	よみちを	四	にん
五	いろいろ	インクが	五	しよく
六	むずむず	むかでが	六	びき
七	なぞなぞ	なぞとき	七	もん
八	やまでら	やまばと	八	わ
九	こっそり	ココアを	九	はい
十	とうとう	とびばこ	十	だん

- ・じてんしゃ 三だい
- ・えんぴつ 五ほん
- ・のおと 四さつ
- ・けしごむ 一つ

第4時

かぞえうたをつくって、はっぴようしあおう。

- たんとうをきめる
- じぶんでつくる
- はっぴようする
- 一つ くくる こまが 一こ
- 二つ ひらひら おりがみが 二まい
- 三つ …
- 四つ …
- 五つ …
- 六つ …
- 九つ …
- 十で …

令和二年度版「みんなとまなぶ しょうがつこうこうこくご 一ねん 上」板書例  
えにつききを かこう

第1時

えにつききを かこう

ともだちに つたえたい ことを おもいだそう。

- たのしかったこと
- ・かぶとむしをつかまえた
- ・ふうるにいった
- ・おにごっこをした
- おもしろかったこと
- ・てれびをみた
- ・えいがをみにいった
- がんばったこと
- ・けいさんのれんしゅう
- ・あさあがおのかんさつ
- おどろいたこと
- ・あさがおのはながさいた。みずいろだった。
- ・せみのぬけがらが、いっぱいおちていた。

第2時

えにつききに かく ことを きめて、くわしく おもいだそう。

☆かくこと

- みたこと
- したこと
- きづいたこと
- きもち

第3時

「したこと」「みたこと」「きもち」「などを  
いれて、えにつきを かこう。

○あさがおが、はじめてさいたこと

・いろ……みたこと

・うれしかった……きもち

○すいぞくかんへいったこと

・たくさんのさかな……みたこと

・ぺんぎん……そらをとぶみたい(たとえ)

・いつしよにおよぎたい……きもち

☆えにつきをかく

① ふんをかく……みたこと、したこと、きもち

② よみかえす……「、」「。」「は」「を」「へ」「  
」「」や「よ」「

③ せんせいにみせる

④ えをかく

第4時

えにつきを よみあい、かんそうをつた  
えあおう。

① よみかえす

② となりどうしでこうかんする  
・よかったところをつたえる

③ いろいろなひととこうかんする  
・よかったところをつたえる

④ ふりかえる

いるか／おさるが ふねを かきました

第1時

いるか

たにかわしゅんたろう

くふうしながら こえに だして よもう。

いるか いるか  
いないか いるか

いない いない いるか

いつなら いるか

よるなら いるか

また きて みるか

いるか いるか

いないか いるか

いる いる いるか

いっぱい いるか

ねて いる いるか

ゆめ みて いるか

○よかったところ。  
・「いる いる」が、ほんとうに

いるかがいるみたいいきこえた。

第2時

おさるがふねをかきました

まど みちお

くふうしながら こえに だして よもう。

ふねでも かいて みましようど  
おさるが ふねを かきました

けむりを もこもこ はかそうと  
えんとつ いっぱん たてました

なんだか すこし さみしいと  
しっぱも いっぱん つけました

ほんとに じょうずに かけたなと  
さかだち いっかい やりました

○なぜ、ふねにしっぱをつけたのか

・ふねが、じぶんのもだちにおもえた。

・じぶんのように、ながいしっぱがあつたらいいなとおもった。

○よかったところ

・だんだんこえがおおきい↓たのしさが

おさるさんがたのしそうなのが  
つたわった。

令和二年度版「みんなとまなぶ」しよがっこうこくご一ねん上 板書例

はなしたいな、なつやすみのこと

第1・2時

はなしたいな、なつやすみのこと  
なつやすみのおもいでを ぷりかえり、は  
なしたい ことを きめよう。

〈なつやすみのおもいで〉

※児童から出た夏休みの思い出を書く。

◎つたえたいおもいでを、一つだけえらんでみ  
よう。

みんなの まえで はなしを する とき  
に きを つける ことを みつけよう。

〈せんせいのはなしをきいて、きついたこと〉

・しゃしんをみせながらはなしていた。

←

しゃしんがいにも……

・さくびん  
・おもいでのはな  
・えにかく

など

・はじめに、なんのはなしをするかつたえていた。  
・ゆつくりはなしをしていた。  
・おおきなこえではなしていた。  
ともだちに つたえる じゅんびをしよう。

第3・4時

なつやすみのおもいでについてつた  
えたい ことを カードに まとめよう。

なつやすみの  
おもいで

つたえたいこと	はなすじゅん

つたえたいことを  
おもいだしながら  
かこう。

はなすことのじゅん  
・うれしかったことのじゅん  
・たのしかったことのじゅん  
・じかんのじゅん  
・めずらしいじゅん  
・かんたんなじゅん など

なつやすみの おもいでについて みんな  
の まえで はっぴょうし、きを つけた こ  
とを ふりかえろう。

◎きをつけたこと

○はなすとき

・ はつきりとはなす。

○きくとき

・ かんそうがいえるようにする。

○じぶんのはっぴょう

・ もっているものがみえるようにした。

○ともだちのはっぴょう

・ みんなのほうをみていたのがよかった。

第1時

はまべで ひろったよ

うみ……なみがザバーン

まるいいしがいつぱい

かいがらひろい

大きい木があった

じょうずに よめる ように なるう。

○かんそう

・きれいなかいがらをひろったことがある。

・こんぶがあった。見たことがない

・木のみはみたことがない。しらなかったよ

・かいそうがいわについているのはしらなかった。

・はまべにきてから、かいの中みがなくなるの

かとおもっていた。

第2時

「どい」の ぶんを みつけよう。

○どいぶんとはなに？

生きものの あしは、いろいろな かたち  
 を して います。

なぜ、いきもののあしは、いろいろなかたち  
 をしているのでしょうか。

どいぶん

あひるの あしの ゆびの あいだには、  
 みずかきが あります。

だから、みずの 中を すいすいと およ  
 ぐ ことが できます。

○どいぶんをさがそう

1 なにが はまべで みつかるでしょうか。

2 みつかったもの どいぶん はまべにたどりつ  
 くのでしょうか。 ←

☆「こたえ」のぶんは、どこに？

第3時

みつかった ものが なにか、さがそう。

はまへでひろったもの

- ・くさのようなもの・かいがら
- ・かいそう・二まいがい・まきがい
- ・くり・木のみ・くるみ
- ・どんぐり

○ひょうにまどめよう

くさのようなもの (おなじ)	かいがら	かいそう
(まどめることば)	まきがい	二まいがい
木のみ	くり	くるみ
(まどめることば)	くるみ	どんぐり
		(しめることば)

おおきくむけるて三三じ

第4時

どのように はまへまで きたかを かんがえよう。

○もとのばしよ ↓ たどりついたばしよ

どのようにたどりついたか

◇かいそう

うみの中のいわ ↓ はまへ  
たいふうではがされて **な**がれつく

◇かいがら

うみの中 ↓ はまへ  
からだがなく なると中がから  
↓ かいがらだけが なみには **こ**ぼれて  
**う**ち上げられる

◇木のみ

山やもり ↓ はまへ  
木からおちて川にながされる  
↓ ながいあいだうみをただよって  
**は**こぼれる



第5時

はまべで みつけた  
とき、どう おもっ  
たか かんがえよう。

○はまべでみつけたとき



くさかな。  
なんだろう。



きれいだ。  
いろんな  
かいがある。



びっくり。  
なんでここに  
木のみが？

○みつかりやすさのじゅんぱん

- ・生きていたばしょからとおくになるじゅんぱん
- ・だんだんみつけにくくなるじゅんぱん

第6時

はまべで ひろったものを  
しょうかいし  
よう。

○やくわりをきめよう

- ・三人グループで
- ・かいそう、かいがら、木のみ

○しょうかいのしかた

- ・なにをしょうかいするか
- ・はじめどこにあったか
- ・つぎに、なぜ、もとのばしょから  
べつのばしょにいったか
- ・さいごに、どこにいったか  
どんなようすだったか

○しょうかいしよう

- ・よかったところをいう。

○ふりかえり

令和二年度版「みんなとまなぶ」しょうがつこうこうごっこ 一ねん 上 板書例  
 かたかなを みつけよう

第1時

かたかなを みつけよう

かたかなで かく ことばを みつけて  
 ころ。

○えをみて、みつけよう

☆かたかなでかくもの

・パン ・オムライス

・プリン ・スープ

☆ひらがなでかくもの

・さかな ・くだもの

・ごはん ・みそしる

◎がいこくからきたものはかたかなでかく。  
 ○かきかた

片仮名五十音のほか、長音、促音、拗音、などの書き方をマス目の中で表したものを貼る

第2時

かたかなで かく ことばを みつけて  
 ノートに ころ。

☆がいこくからきたものは、かたかなでかく。

○かたかなでかくことば

・ロッカー

・シール

・プロック

・セロテープ

○かたかなとひらがなをくみあわせたことば

・ケシゴム↓けしゴム

・クーポンケン↓クーポンけん

第1時

がっこうで みつけたよ



・はな  
 「きいろとしろのはなだね。」

・あり  
 「どこにいくの。」

・木  
 「木のみが なっているよ。」

いきものや しよくぶつを かんさつし  
 て、はっけんした ことが つたわる よう  
 にかこう。

- べんきょうのすすめかた
- 1 みつけたものをかきだそう。
  - 2 カードにまとめよう。
  - 3 カードをもとにかこう。
  - 4 よみかえそう。
  - 5 よみあおう。

第2・3時

いきものや しよくぶつを よくみて  
 しらせたことを ノートに かこう。

〈みつけたもの〉  
 ・たくさんのひまわりのたね  
 ・いしのしたのたんごむし  
 ・なにかをはこんでいるあり。

・の [ ]  
 ・ [ ] している。

○しらせたこと

○〈みつけたもの〉

- ・フェンスにまぎついたアサガオ
- ...

○いちばんかきたいこと

第4時

かきたい ことを カードに まとめよう。

だんごむしの  
写真を貼る

きづいたこと



そのほか  
・みため  
・てぎわり  
・におい  
など

○じぶんのカード

○ともだちのカードのよいところ

・  
・

第5・6時

カードに まとめた ことから、ぶんを つくろう。




○は□です。  
でした。

○じぶんのカード↓ぶん

第7時

かく ことの じゅんばんを きめて、み  
つけた ことを くわしく かこう。

※前時の文

Blank writing lines for the previous lesson's text.

だんごむし おおもり よしお  
だんごむしを みつけました。  
いしのしたに、五ひきいま  
した。あわてていました。  
くるっばいいろでした。  
つめくらの おおきさで、  
さわったら まるく なりました。

- 1 だいをかく。
- 2 なまえをかく。
- 3 一ますさげてぶんをかく。



第8時

かいた ぶんしょうを こえに だして  
よみ、よりよい ぶんしょうに なおそう。

○きをつけること

- ・いみがわからないところはなにか。
- ・ていねいな いいかたか。(〜でした。〜まし  
た。)
- ・かきはじめは、一ますさげてあるか。
- ・じのまちがいがいいか。
- ・「」の うちまちがいがいいか。



ぶんしょうをよみあって、よいところ  
をつたえあおう。

◎よむときのこと

・いろ、かず、かたち、おおきさなど、ようす  
がよくつたわるぶんをみつける。

1 いちばん「いいな」とおもったぶんの  
上に、ふせんをはる。

2 「いいな」とおもったことは、ことばでも  
つたえる。

...

○ふりかえり

令和二年度版「みんなとまなぶ」しようがっこうこくご 一ねん 上 板書例  
「ぬりえゲーム」をしよう

第1時

「ぬりえゲーム」をしよう

だじな ことばは なにか、かんがえて  
きこう。

☆ゲームのやりかた

- ① シートをもらう。
- ② いろえんぴつのようにする。
- ③ どのいろえんぴつを、だれがもつのかを  
きめる。

正しく塗られた絵を提示する。

第2・3時

だじな ことば なにかを かんがえな  
がら ききあい、ぬりえを かんせいさせ  
よう。

☆ゲームのやりかた

- ① せんせいから、シートとヒントカードをも  
らう。
- ② ヒントカードをみんなにくぼる。
- ③ じゅんばんにカードをよみ、いろをぬる。

正しく塗られた絵を提示する。

NO.2

- みんなにはなしたりきいたりするとき
- ・わかりやすくはなす。
- ・きちんときく。

令和二年度版「みんなとまなぶ」しょうがつこうこくご「ねん上」板書例  
 かんじの できかた

第1時

○ふりかえり



○ならべかえましょう。



かんじの できかた  
 もの かたちから できた かんじを  
 がくしゅうしよう。



月
日
口
木
人
山

第2時

○ふりかえり



○ならべかえましょう。



山  
 もののかたちから  
 できたかんじ



下
中
上



さるじぞう／おはなしが いっぱい

第1時

さるじぞう／おはなしが いっぱい  
しっている むかしばなしの だいめいを  
だしあおう。

- にほんのむかしばなし
- ・さるかにがっせん
- ・ももたろう
- ・つるのおんがえし
- ・かちかち山
- ・きんたろう
- ・うらしまたろう
- ・おむすびころりん
- ・はなさかじいさん
- せかいの むかしはなし
- ・あかずきんちゃん
- ・みにくいあひるのこ
- ・おおきなかぶ
- ・ヘンゼルとグレーテル
- ・ブレーメンのおんがくたい

第2時

さるじぞう  
さるじぞうを よんで、おもしろかった  
ところを はなしあおう。

- ◎おもしろかったところ
- ・となりのじさまが、へをこくところ。
- ・となりのじさまが、川におとされるところ。
- ・さるがうたうところ
- ・おわりのは
- ・…とつぴんからりん すっからりん
- ・やさしいじさまが、そなえものを  
たくさんもちうところ
- ・さるがかんちがいらしているところ

第3時

おんどくはっぴようかいで よみたい  
ばめんを きめて、れんしゅうしよう。

ばめん	やくわり
一ばめん	じさま かたりて さる
二ばめん	じさま かたりて さる
三ばめん	さる かたりて となりのばさま さる
四ばめん	さる かたりて さる となりのじさま

第4時

おんどくはっぴようかいを しよう。

- ◎ちゅういすること
- ・ほかのグループのはっぴようをよくきく。
  - ・だまってきく。
  - ・まちがってもわらわない。
  - ・どこがじょうずかをよくきく。

第5時

たのしかった ことや できた ことを  
ふりかえろう。

- ◎ たのしかったこと
  - ・ おんどくをしたこと。
  - ・ さるじぞうのさいごのばめん
- ◎ うまくできたこと
- ・ すらすらとおんどくできた。
  - ・ くふうしておんどくできた。
  - ・ ちからをあわせてはつぴょうできた。

第6時

おはなしが いっぱい  
えを みながら、しって いる  
むかしばなしを しょうかいしよう。



第7時

むかしばなしを きいたり、  
かりた ほんを よんだり しよう。

◎せんせいがかかりたほん  
「○○○○○○」※借りた本の題名

◎じぶんでえらんだほん

しょうかいカード  
☆むかしばなしを しょうかいしよう

しょうかいする ほんの だいめい
おもしろかった ところ

第8時

よんだ むかしばなしを しょうかいした  
り、みんわを きいたり しよう。

◎せんせいがかかりたほん  
「○○○○○○」※借りた本の題名

◎えらんだほんのしょうかい

しょうかいカード  
☆むかしばなしを しょうかいしよう

しょうかいする ほんの だいめい
おもしろかった ところ